

南ア月報  
(2022年4月)

【内政】

- 国家的災害事態の解除
- クワズールー・ナタール (KZN) 州での大雨・洪水被害発生

【外政】

- SADC 政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ
- 南ア・米首脳電話会談
- 南ア・ウクライナ首脳電話会談
- 南ア・ボツワナ二国間委員会
- ギニアビサウ大統領の南ア訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- Moody's : 南ア格付け見直しを安定的に変更

【警備】

- 南ア治安情勢 (自動車盗の増加傾向)

## 1 内政

### ●国家的災害事態の解除

4日、ラマポーザ大統領は演説を行い、2022年4月5日午前0時をもって、国家的災害事態（the national state of disaster）を解除することを発表した。

### ●クワズールー・ナタール（KZN）州での大雨・洪水被害発生

11～12日の週末での大雨により、KZN州（主にダーバン及びその近郊）で洪水被害が発生。18日、ラマポーザ大統領は演説にて、洪水による災害を国家的災害事態と宣言。

## 2 外政

### ●SADC 政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ

12日、ラマポーザ大統領は、プレトリアにて開催された SADC トロイカ臨時首脳会合に出席した。同会合には、ニュシ・モザンビーク大統領及び SADC モザンビーク・ミッション（SAMIM）へ人員派遣を行っている国々の首脳または閣僚が出席した。同会合では、モザンビークのカーボデルガード州における SAMIM 活動の進捗を踏まえ、今後の活動に関する話し合いが行われた。

### ●南ア・米首脳電話会談

8日、ラマポーザ大統領はバイデン米大統領と電話会談を実施した。両大統領は、二国間関係のさらなる促進及び世界的な諸課題について意見交換を行った。

### ●南ア・ウクライナ首脳電話会談

20日、ラマポーザ大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を実施した。ラマポーザ大統領は、ウクライナにおける紛争における甚大な犠牲者と同紛争の世界的な影響について話し合いを行った。

### ●南ア・ボツワナ二国間委員会

22日、マシシ・ボツワナ大統領が南アを訪問し、南ア・ボツワナ第5回二国間委員会が開催された。両大統領は、既存の覚書を早期実施することで合意し、二国間関係の他に、南部アフリカ地域、アフリカ大陸及び国際的な課題につき意見交換を行った。次回委員会は来年ボツワナで開催される予定。

### ●ギニアビサウ大統領の南ア訪問

28日、エンバロ・ギニアビサウ大統領が南アを国賓訪問し、ラマポーザ大統領と共に、両国間の投資及び貿易促進に係る協力を行うことで合意した。また、両大統領はアフリカにおける経済活性化には平和と安定が不可欠であるものの、ここ数年にアフリカ各国で発生したクーデター及び武力衝突を懸念している旨を話し合った。

## 3 経済

### <経済指標>

#### ●消費者物価

2022年3月の年間消費者物価インフレーション率は5.9%で前月（5.7%）に比べ0.2%上昇した。消費者物価指数（CPI）は前月から1.0%上昇した。（南ア統計局、4月20日）

## ●為替レート

2021年4月29日付（南ア準備銀行）

8.1720 ランド/円

15.8889 ランド/米ドル

16.7954 ランド/ユーロ

## ●製造業生産高

2022年2月の製造業は、前年同月比0.2%増。主なプラス要因は、食料品及び飲料で4.2%増。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で3.9%増。

また過去3ヶ月（2021年12月～2022年2月）の季節調節後生産高は2021年9月～11月の3ヶ月から3.8%増。製造業10部門中の9つの部門で生産高増となった。（南ア統計局、4月11日）

## ●鉱業生産高

2022年2月の鉱業生産高は、前年同月比6.0%減。主なマイナス要因は、鉄鉱石で29.2%減、白金で16.5%減、金で9.3%減。

また過去3ヶ月（2021年12月～2022年2月）の季節調節後生産高は2021年9月～11月の3ヶ月から3.8%減となった。（南ア統計局、4月14日）

## <出来事>

### ●Moody's：南ア格付け見直しを安定的に変更

1日、米格付け機関 Moody's が、南アの格付け見直しを「ネガティブ」から「安定的」に引上げ、長期外貨建て及び現地通貨建て債務の格付けを「Ba2」に据置く旨発表した。見直しを安定的に変更した主な要因は、財政見通しが改善され、政府の債務負担が中期的に安定する可能性が高まったこと。

## 4 警備

### ●南ア治安情勢（自動車盗の増加傾向）

自動車盗が増加傾向にある。標的となる車種は、当地で Bakkie と呼ばれるピックアップトラック型の車が多いが、高級車、小型車など幅広い車種にわたり被害が及んでいることから、車種を問わず盗難防止対策が必要である。

路上での被害が一番多いため、警備員が配置されている駐車場や入庫出庫管理が行われている駐車場など、駐車場所の選定が重要と言える。

また、犯行時間は1～5分とも言われており、駐車する時間がたとえ僅かであったとしても、確実な施錠など防犯対策を講じることが肝要である。